

2009年4月1日～2019年3月31日に膀胱水圧拡張術を受けた方へ
研究実施のお知らせ

杏林大学泌尿器科では下記の臨床研究を行っております。
本研究の対象者に該当する方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

研究課題名：人工知能 AI による間質性膀胱炎の診断

研究の対象：2009年4月1日～2019年3月31日に膀胱水圧拡張術を受けた
間質性膀胱炎の患者さん

研究期間：承認後～2029年3月31日

研究の目的：間質性膀胱炎の病型診断の標準化、ハンナ型間質性膀胱炎を自動検出する方法
の確立を目指します。

研究方法：2009年4月1日～2019年3月31日に実施された膀胱水圧拡張術の術中内視鏡
画像を収集し、人工知能を用いたディープラーニング（深層学習）法で診断方法
を確立します。

研究機関：杏林大学医学部泌尿器科
東京大学医学部泌尿器科
産業技術総合研究所人工知能研究センター（研究責任者：野里博和）

外部への情報提供について：

杏林大学泌尿器科および東京大学泌尿器科で録画された内視鏡画像は匿名化された状態で、杏林大学泌尿器科に集められ、病変部位の特定を行います。その後、匿名化された状態で産業技術総合研究所人工知能研究センターへ送られ、人工知能による学習を行います。匿名化されていますので、あなたのお名前や個人情報が漏れることはありません。

研究に関するお問い合わせ：

杏林大学医学部泌尿器科 教授 福原 浩
〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2
TEL：0422-47-5511